

『オナサポメイド ～丁寧にされたり 蔑<sup>さげす</sup>まれたりしながら、シコシコ音  
声で発射したいご主人様へ～』 Aパート

CV 森野りりか

企画・台本 オナサポ総合研究所

-----  
【あらすじ】メイドがオナサポ依存症のご主人様のために、丁寧に  
蔑<sup>さげす</sup>みながら指示を出します。

### 【プロローグ】

ご機嫌いかがでございますか？ ご主人様。

オナ禁<sup>きん</sup>お疲れさまでした。

もうだいぶ溜<sup>た</sup>まっているご様子ですので、両手両足の拘束具<sup>こうそくぐ</sup>は、外<sup>はず</sup>  
しておきますね？

これをこう…。ん…ん…。

〈カチャ、カチャリ…〉

と、これでよし。

んっふふ。

ご主人様が奇<sup>き</sup>病<sup>びょう</sup>におかされて以来、定期的にシモのお世話をする  
ことが、私のつとめとなっています。

本来は従<sup>じゅうぞくてき</sup>属的な立場であるはずの、私のようなメイドから…蔑<sup>さげす</sup>み  
の言葉を投げかけられ、付き添<sup>そ</sup>いで丁寧にオナサポをされなければ、  
もはや性的な興奮<sup>え</sup>を得ることさえ、難しくなってしまうからで  
す。

今は射精もお一人では出来なくなっています。

問題はそのまま放置を続けると、高い熱をともなった身体<sup>しんたい</sup>の異常と、  
三回<sup>みぎ</sup>右に回って二回<sup>ひだり</sup>左に回るといふ…意味のわからない奇行<sup>きこう</sup>を、  
延々<sup>えんえん</sup>と繰り返してしまうことです。

原因は分かりません…。

お医者様によれば、「疲労による一時的な性倒錯<sup>せいとうさく</sup>と、それを強制的  
に解放<sup>かいほう</sup>しようとする、何らかの意思行動である」との、診断<sup>しんだん</sup>を受け  
てはいるものの…匙<sup>さじ</sup>を投げられてしまっているのが現状<sup>げんじょう</sup>です。

この広い世界で誰にも理解されないご主人様は、とても可哀想な方<sup>かた</sup>  
です。

だから今日も私が、汚い言葉<sup>なじ</sup>で詰ってさし上げなければなりません。

さあ、ご主人様？

大好きなオナサポ、始めますね？

### 【オナサポ準備】

始めに、用意しておくべき物のチェックをします。

準備の出来ていないゴミクズのようなご主人様には、二度とオナサ  
ポを致<sup>いた</sup>しませんので、よお〜く確認しておいてくださいね？

まずはチーク用とアイシャドウ用のメイクブラシを、1本ずつ。

なければそれに似たような、大<sup>だいしょう</sup>小<sup>ふで</sup>二種類の筆があるといいです  
ね？

次にベビーパウダー、手を拭<sup>ふ</sup>くためのタオル、頭の下にしく枕<sup>まくら</sup>か  
クッション。

あとは履<sup>は</sup>いておく下着ですが、何回も着<sup>ちやくよう</sup>用<sup>なじ</sup>して馴染んだ柔らかい  
ブリーフか、ボクサーパンツを…。

とにかく横から大事なものを、無理なく丸ごと出せるパンツ形態<sup>けいたい</sup>のお召し物<sup>め</sup>が必要です。

おそろいになっていますか？ ご主人様。

ふうん…。

さっさとしないと金玉を握り潰<sup>つぶ</sup>してしまいますよ？

何度も聞き返して私の手を煩<sup>わずら</sup>わせないでくださいませ？

よろしいですか？

では、ここまですでに整<sup>ととの</sup>っているようでしたら、服を脱いで下着姿になって頂きます。

室内の温度調整は、お忘れのないように。

次は仰向けに寝てくださいね？<sup>あおむ</sup>

横になったら下着の左端<sup>ひだりはし</sup>から…。

こっち、こっち側ですよ？ ご主人様。

おちんちんと金玉を丸ごとポローンと、わざとハミ出<sup>だ</sup>させてくださいませ？

もしも前開<sup>まえあ</sup>きのスリットがあっても、そこからではなく横から、「ハミちん」させておくんですよ？

そうです。

出てきましたよ～？ と～っても粗末<sup>そまつ</sup>なおちんちんが。

ご主人様はこんな小さなモノをぶらさげていらっしゃって、よく恥<sup>は</sup>ずかしげもなく生きていられますねえ？ んっふふ。

ニオイはどうなんですか～？ ある程度は想像できますけど…。

くん、くんくん…くんくん…はあ～…。 クサ。

まるでイカの腐<sup>くさ</sup>ったような雑菌<sup>ざっきん</sup>の宝庫ですね～？

くん、くんくん…くんくん…はあ～…。 死んでもらいたいくらいです。

私がいいと言うまでは、この汚いおちんちんのお触り<sup>さわ</sup>は禁止ですけど、かわりにツバをひっかけてさし上げますね？

プッ、プッ、プッ。

もっと欲しいんですか？

プッ、プッ、プッ。

ほ～ら、ツバだらけでございますよ？

満足頂けましたか？ ご主人様。

恥辱<sup>ちじよく</sup>まみれのおちんちんはしばらくこのまま、放置プレイ状態にしておきます。

まずは私の指示通り、ブラシをコントロールしてもらいますよ？

いいですか？ ご主人様。

### 【メイク用ブラシで乳首愛撫オナニー】

太い方のブラシを右手に持って、ベビーパウダーの粉<sup>こな</sup>を軽う～くなじませてくださいね？

細い方のブラシも同じようにして、左手に持ってください？

パウダーをつけたらまた、寝転がって…。

右のブラシでこちら側の首スジを、撫<sup>な</sup>でていきますよ～？

上<sup>うえ</sup>から下<sup>した</sup>へ～？ 下から上へ～？

スウーツ、スウーツ。 スウーツ、スウ～ッ ♪

スウーツ、スウーツ。 スウーツ、スウ～ッ ♪

いいですよ～？ ご主人様。

そのスッカスカのかぼちゃ<sup>あたま</sup>頭で、もっともっとスウースウーして

くださいね～？ んふふふ。

今度は反対側の首スジもですよ～？

<sup>うえ</sup>上から<sup>した</sup>下へ～？ <sup>した</sup>下から<sup>うえ</sup>上へ～？

スウーツ、スウーツ。 スウーツ、スウ～ツ ♪

スウーツ、スウーツ。 スウーツ、スウ～ツ ♪

と～ってもダメな顔になってきましたね～？

まだまだ、もっともっと…。どんどんどんどんダメになっていくんですよ～？

<sup>いま</sup>今ご主人様の首スジを、スウーツと舐め回しているブラシが、だんだん<sup>した</sup>舌の表面に思えてきますよ～？

真ん中からブラシをスウーツと<sup>お</sup>降ろして、胸のほうまで<sup>お</sup>降りたら、右の<sup>ちくび</sup>乳首へ…。

<sup>うえ</sup>上にい～<sup>した</sup>下に、横にい～<sup>なな</sup>斜めに…。

<sup>ちくび</sup>乳首を<sup>ころ</sup>ぺろぺろ舐め<sup>えが</sup>転がしたら、今度は<sup>にゅうりん</sup>円を描くように、乳輪から<sup>うちがわ</sup>スパイラルに<sup>ちくび</sup>内側へ<sup>りんかく</sup>責めて、乳首の輪郭を<sup>は</sup>這い回す感じで…くるくる回してください？

ぺろぺろぺろぺろ、れろれろれろれろ。

ピーンと<sup>た</sup>勃ってきちゃいましたね～？

「<sup>ちくび</sup>乳首おちんちん」にブラシの舌を<sup>は</sup>這わせて、<sup>うえ</sup>上にい～<sup>した</sup>下に、横にい～斜めに…。

くるくるくるくる、ぺろぺろぺろぺろ。

さあ、ご主人様？

左手に持っている細いほうのブラシを、<sup>ひだり</sup>左<sup>ちくび</sup>乳首にあてて…。

ダブルハンドテクニックです。

細いほうは舌の先っぽで、れろっと弾かれるような、刺激的な感  
触。  
触。

太いほうは舌のお腹あたりのぺろんとした、やさしい感 触 に似て  
います。

ご主人様がそれをイメージできましたら、とっても気持ちよくなり  
ますよ？

左の乳首がブラシの舌先に、弄 ばれるように弾かれて、れろれろ  
れろれろ…。

右の乳首は乳 輪からやさしく、トロけるように舐め回されて、  
ぺろぺろぺろぺろ…。

んっふふ、両方の乳首に別々の刺激を、そんなに器用に加えること  
ができるのに、どうしてご主人様は役立たずなのですか～？

自分を気持ちよくされることだけは、本当によくできちゃうんです  
ねえ？

その才能は、もっとほかに使われるべきものですよ？ んふふふ。

手を止めないでくださいね～？

もっと鼻の穴の開いた豚のような顔で、ブヒブヒしてください？

ブヒブヒ、ブヒブヒ。

そうでございますよ～？

ご主人様の「豚オナフェイス」は、芸術的ですね～？

れろれろれろれろ、ぺろ～りぺろ～り。

はい、ではブラシを左右交換してくださいね？

右の乳首があ～、れろれろれろれろ、細いブラシで…。

左の乳首はあ～、ぺろぺろぺろぺろ、太いブラシですよ？

現実でもこんなことされてみたいと思いませんか？ ご主人様。

もしも<sup>かか</sup>お抱えメイドの私が二人に増えたら、<sup>さ ゆう</sup>左右から乳首をダブルで舐め回されて、も〜っとアヘアヘできちゃうかもしれませんよ？

<sup>いち に さん</sup>  
1、2、3、はい♪

〈左右からのささやきと舐め音が入ります〉

ぺろぺろぺろぺろぺろぺろぺろ。

れろれろれろれろれろれろれろ。

ぺろぺろぺろぺろぺろぺろぺろ。

れろれろれろれろれろれろれろ。

〈乳首舐めちゅば音〉

レロレロレロレロレロレロレロ、レロレロレロレロレロレロレ  
ロレロ、レロレロレロレロレロレロレロ、レロレロレロレロレ  
ロレロレロレロ、レロレロレロレロレロレロレロ、レロレロレ  
ロレロレロレロレロ…。

ペロ〜ンペロ〜ンペロ〜ンペロ〜ン、ペロ〜ンペロ〜ンペロ〜ンペ  
ロ〜ン、ペロ〜ンペロ〜ンペロ〜ンペロ〜ン、ペロ〜ンペロ〜ンペ  
ロ〜ンペロ〜ン、ペロ〜ンペロ〜ンペロ〜ンペロ〜ン、ペロ〜ンペ  
ロ〜ンペロ〜ンペロ〜ン…。

<sup>みぎ ひだり む ぼう び</sup>  
右から 左 から…「無防備な乳首ちんちん」が、ぺろぺろのれろん  
れろんにされちゃって…。ぷっくりぷっくり、<sup>み もだ</sup>身悶えしちゃうくら  
いに…<sup>た</sup>勃ってしまってますねえ？

<sup>からだ</sup>  
身体が反応してびっくんびくんになっても…。 「舐められたい、  
舐められたい、舐めてもらいたい」…もっとぐっしょんぐしょんに

やってもらいたくて、ご主人様はそのままオッパイを突き出してしまうんです。

女の子なんですか～？ ご主人様は。

そんなにオッパイを責められるのが好きだなんて、男の子じゃないみたいですよ～？

口に出して言ってみてください？

「僕のオッパイ舐めて？ オッパイ<sup>おか</sup>犯して？」

〈しばらく待つ〉

ちゃ～んと言えてますか？ ド変態のご主人様。

そんなちっちゃい声ならもうやめてしまってもいいんですよ？

いやですよね～？

それでしたら口に出して言ってみてください？

「僕のオッパイ舐めて？ 舐め<sup>ころ</sup>転がしてヒイヒイ言わせて？」

〈しばらく待つ〉

んふふふ、まだちゃんと言えてないじゃないですか～？ このクソムシが。

もう一回。

「僕のオッパイ舐めて？ ねえ舐めて？ 舐めて舐めて？」

〈しばらく待つ〉

この<sup>しゅうたい</sup>醜態はちゃーんとカメラに<sup>と</sup>撮っておきますね？

〈カシャリ、カシャ、カシャ〉

んふふ、んふふふふ、あははははっ。

もっといい顔見せてくださいね～？

さあ、ご主人様が気に入られたのは、どちらの舐め舐めですか？



気持ちの良かったほうのブラシを、左手にもってください？

もしも<sup>ゆうじゅう ふだん</sup>優柔不斷で決められないのであれば、二本ともでいいですよ？

そのまま<sup>みぎ ちくび</sup>右乳首でも<sup>ひだり ちくび</sup>左乳首でも、自由に舐め舐めさせてくださいね？

あまった右手はどこに行くのか、わかりますよねえ？

パンツの横からハミ出させておいた、おちんちんです。

今度は私のシコシコのかけ声が真ん中から聞こえますので、それに合わせてピストンしてください？

右側と、左側から聞こえる私の声の…。

どちらが<sup>ほんね</sup>本音なのかは、想像にお任せしておきますね？ んっふふ。

いいですか？ ご主人様。

いきますよ～？ 最初はゆっくり～♪

### 【左右メイド、シコシコ音声でオナサポ】

〈中央からのシコシコ音が入ります〉

[メイド<sup>左</sup>]：

おちんちんのお皮を、ムイたり、かぶせたり。ムイたり、かぶせたり…。まだ使い込まれていない真っピンクな亀頭ですね？

[メイド<sup>右</sup>]：

んっふふ、こんなに小さい「なめこ」みたいなものじゃあ、私以外の女の子には、見せられるわけありませんよね？

[メイド<sup>左</sup>]：

自信をもってくださいませ？ ご主人様。

ずっとお世話させて頂いた私は、知っていますよ？ もっともっと

大きくできるってことを。

[メイド**右**]：

ああ、そうでしたね～？

せいぜい「しめじ」くらいの大きさですけど。

[メイド**左**]：

ほら、ちょっとムックリしてきましたよ？

[メイド**右**]：

メイドに見られながら勃起させてしまう、<sup>へんたいぶた やろう</sup>変態豚野郎ですね～？

[メイド**左**→中→**右**]：

さあ、ご主人様？

<sup>じょじょ</sup>徐々にシコシコスピードを上げていきますが、私がいいと合図をする最後の最後まで、イカずに我慢してくださいませ？

〈シコシコ音・チェンジ〉

[メイド**左**←中←**右**]：

もしも<sup>も</sup>お漏らしをしてしまったら、おちんちんの尿道にドクドクと、  
<sup>せっちゃくざい</sup>接着剤を流し込みますから。

[メイド**右**]：

リズムが変わりましたよ？

いつかご主人様がモテモテになってしまう時が来たら…。

[メイド**左**]：

ないです、ないです。 絶対にありえません。

[メイド**右**]：

女の子から受ける、色々な<sup>あいぶ</sup>愛撫に耐えなければなりませんからね？

[メイド**左**]：

おそろく速効<sup>そっこう</sup>で出してしまつて、金玉<sup>ふ</sup>ごと踏んづけられてしまうと  
思いますが。 あはははっ。

[メイド**右**]:

きつとご主人様にお似合いの、優しい女の子<sup>めぐ</sup>に巡り会えます。  
ただ強くなるためには、左手の乳首責めも、忘れずに続けてくださ  
いね？

[メイド**左**]:

オナ豚<sup>ぶた ぶんざい</sup>の分際<sup>ぶんざい</sup>で手を抜くことが許されると思っているご主人様は、  
甘すぎますねえ？ こ〜こ、チョッキンしちゃいますよ？

〈シコシコ・リズムチェンジ〉

[メイド**右**]:

んふふ、チョッキンされてしまうと、オナ指示されてもシコシコす  
るものが無<sup>な</sup>くなってしまうから、頑張ってくださいませ？

[メイド**左**]:

一体<sup>いったい</sup>どんなオナ指示を待っているんですか〜？ この「しめじちん  
ちん」は？

[メイド**右**]:

そうですねえ、カリ首をクニクニユ〜つと、絞り<sup>しぼ</sup>上げるように力  
を加<sup>くわ</sup>えていくと、とっても気持ちよくなりますよ？

[メイド**左**]:

かけ声が欲しいんですか？ ご自身が気持ちよくなるために？

ほんと、何もできないくせに世話だけ焼かせる、めんどくさいオナ  
豚<sup>ぶた</sup>ですねえ？

[メイド**右**]:

いいですよ？ ご主人様。

両耳にいきますね？ せーの♪

[メイド**左**]：

せ〜の…。

[メイド**右**]：

クニュッ、クニュッ♪ クニュッ、クニュッ♪ クニュッ、クニュッ♪  
クニュッ、クニュッ♪

[メイド**左**←中←**右**]：

クニュッ、クニュッ♪ クニュッ、クニュッ♪ クニュッ、クニュッ♪  
クニュッ、クニュッ♪

[メイド**左**]：

クニュッ、クニュッ♪ クニュッ、クニュッ♪ クニュッ、クニュッ♪  
クニュッ、クニュッ♪

[メイド**左**→中→**右**]：

クニュッ、クニュッ♪ クニュッ、クニュッ♪ クニュッ、クニュッ♪  
クニュッ、クニュッ♪

〈シコシコ・リズムチェンジ〉

[メイド**左**]：

透明なお汁がジュワッ<sup>しる</sup>とあふれて、おちんちんがとっても気持ちよ  
さそうになってきましたね？

[メイド**右**]：

「ハミちゃん手こき」が気持ちいいのは、当たり前ですから。ふふっ。

[メイド左]：

こんなふう<sup>ぬ</sup>に下着も脱がしてもらえずに、横から女の子の手でやられてしまったら、興奮しちゃいますよね？ ご主人様。

[メイド右]：

せいぜい楽しんでください？

起こりもしない空想<sup>くうそう</sup>でアヘアへしちゃって、私の目にはこの上なく  
マヌケ<sup>うっ</sup>に映ってますけど。 んっふふ。

[メイド左]：

その手の動き、もう少し速くしていきましょうか？

〈シコシコリズム・チェンジ〉

[メイド右]：

みにく<sup>みにく</sup> <sup>はや</sup>醜い「速こき」を見せて頂いても、なん<sup>とく</sup>の得もないのですが。

[メイド左]：

お見事ですよ？ ご主人様。

すっかり硬<sup>かた</sup>くビンビンにそそり<sup>た</sup>勃ったおちんちんを、もっともっと  
ぬるぬるとシゴいて、持<sup>じ</sup>続<sup>ぞくりよく</sup>力<sup>きた</sup>を鍛え上げてくださいませ？

[メイド右]：

現実的には先<sup>い</sup>っぽさえ挿<sup>かな</sup>れることも叶いませんけど。 ふふっ。

[メイド左]：

おちんちんがこんなに自己主張を始めて、元気いっぱい<sup>い</sup>にビクビク  
しているのを見ていると、女の子は我慢できなくなってしまうん  
です。

[メイド右]：

ご主人様の毒キノコ<sup>からだ</sup>を身体の中に挿<sup>い</sup>れるなんて、想像ただけで気

持ち悪くなります。

[メイド左]：

そろそろご主人様に騎乗<sup>きじょうい</sup>位した女の子の喘<sup>あえ</sup>ぎ声…。 ほら、聞こえてくるかも知れませんよ？

[メイド右]：

ちっ。

最悪です。 ま〜ためんどくさいことをさせようだなんて…。

ふあつく <sup>さ の ば び っ ち</sup> Fuck あんど Son Of a Bitch でございますよ？ ご主人様。

〈シコシコリズム・チェンジ〉

[メイド左]：

はあ…はあ…あっ…ああっ…ん…ああ…ああっ…ああっ…ああっ…  
ああっ…ああっ…ああっ…はあ…はあ…はあ…。

[メイド右]：

ご主人様の粗<sup>そ</sup>チンが、出たり入ったり、出たり入ったり。

この腐<sup>くさ</sup>れちんちん、すっごく気持ち悪い感<sup>かん</sup>触<sup>しょく</sup> なんですねぇ？

んん…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…はあ…  
はあ…はあ…。

[メイド左]：

お尻を上下に、前後に左右<sup>さゆう</sup>に動かして、ご主人様のおちんちんを、  
ぬるぬると包<sup>つつ</sup>み込んでさしあげますよ？

[メイド左→中→右]：

あっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…うう…あ…はあ…  
…あっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…うう…あ…はあ…  
あ…はあ…はあ…。

[メイド左←中←右]：

気持ちいいですか？こんなにズボズボされるのは。 オナニーしか  
知らない半童貞<sup>はんどうてい</sup>ちんちんには、刺激が強すぎますよねえ？ ふふっ。

う…ああ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…あ  
あっ…はあ…はあ…。

[メイド右]：

ぐっと根元<sup>ねもと</sup>までハメて、ぬるっとひき戻<sup>もど</sup>して、密着した「肉シリン  
ダー」の中で、おちんちんのピストンスピードが、もうマックスに  
なっていますよ？

素晴らしいです、ご主人様。

ああ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ  
…ああっ…ああっ…はあ…はあ…はあ…。

[メイド左]：

それにしましても、も一つと奥まで届かないんですか？ この自己  
満足の短小ちんちん。

ちっちゃいならちっちゃいなりに、頑張ってもらわないと。

そなんじゃ、誰も満足させられませんよ？

ああ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ  
…ああっ…ああっ…はあ…はあ…はあ…。

[メイド右]：

いいですよ？ ご主人様。

愛液<sup>あいえき</sup>とカウパーにまみれた、ビンビンの反<sup>そ</sup>り返<sup>かえ</sup>り具合を見ると、も  
う限界に近づいている感じがしますね？

最後までぬめぬめと結合<sup>けつごう</sup>してるところを、よ〜く見てくださいま  
せ？

ああ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ  
…ああっ…ああっ…はあ…はあ…はあ…。

[メイド**左**] :

やっぱり不慣れ<sup>ふな</sup>すぎてイキそうなんですね？ 金玉あがってきてる  
じゃないですか？ もう下腹部に埋<sup>う</sup>もれて見えなくなってしまうく  
らい。

役立たずのポンコツちんちんですから、こんなものですよねえ？

ああ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ  
…ああっ…ああっ…はあ…はあ…はあ…。

[メイド**右**] :

それじゃあご主人様？ フィニッシュですよ？

ぴゅ〜っとイキたくなったら、教えてくださいませ？

〈シコシコリズム・チェンジ〉

[メイド**右**] :

ああ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ…ああっ  
…ああっ…ああっ…はあ…はあ…はあ…。

[メイド**左**] :

あっ…ああ…ああっ…ああっ…ああっ、ああっ、さっさと外に出し  
てくださいね？…もう、めんどくさいんですから…う…ああっ…あ  
あっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、あああっ。

[メイド**右**] :

ん…あ…ああ…ああっ…ああっ…ああっ、ああっ、ご主人様のすべ  
てを…受け止めてさし上げますよ？…ああ…いい…ああっ…ああっ、  
ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、あああっ。



[メイド左] :

あつ…ああ…ああつ…ああつ…ああつ、ああつ、オナ奴隷<sup>どれい</sup>の分際で  
…中に出したら、仕置き<sup>しおき</sup>対象です…う…あ…ああつ…わかっています  
よね？…ああ…ああつ、ああつ、ああつ、ああつ、ああつ、ああつ、  
あああつ。

[メイド右] :

あつ…ああ…ああつ…ああつ…ああつ、ああつ、中でいいんです  
よ？…メイドの役割は…ご主人様のミルクタンクみたいなものです  
から…ああ…ああつ…ああつ、ああつ、ああつ、ああつ、ああつ、  
ああつ、あああつ。

[メイド左] :

ん…あ…ああ…ああつ…ああつ…ああつ、ああつ、仕方ないですね  
…この締まり<sup>し</sup>のない、お漏らし<sup>も</sup>ちんちんは…はう…ああ…ああつ…  
今から<sup>いつ</sup>5つ数えますよ？

[メイド右] :

あつ…ああ…ああつ…ああつ…ああつ、ああつ、ゼロと言ったら、  
ご主人様の甘いミルクセーキを、ぴゅぴゅ〜っと…出してください  
ね？

[メイド左] :

ああ…ああつ…ああつ、ああつ、ああつ、おまんこ…。ああつ、あ  
あつ、ああつ、ああつ、ああつ、ああつ、ああつ、ああああつ。  
イク、イク、イクイクイク、イクイクイクイクイクイクイクイクう  
ーつ。

[メイド右] :

ああ…ああっ…ああっ、ああっ、ああっ、いいです…。ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああっ、ああああっ。  
イクイクイクイクイクイクイク、イクイクイクイクイクイクイクイクイクうーっ。

〈左右からカウントダウンが入ります〉

[メイド**右**] :

ごお よん さん にい いち  
5、4、3、2、1…。ゼロ。

[メイド**左**] :

5、4、3、2、1…。ゼロ。

〈左右から射精の擬音が入ります〉

[メイド**中→右**] :

どぴゅ～、どっぴゅ～、どぴゅどぴゅどぴゅどぴゅ～♪

[メイド**中→左**] :

どぴゅ～、どっぴゅ～、どぴゅどぴゅどぴゅどぴゅ～♪

〈メイドが一つに統合されもとに戻ります〉

んっ…んう…ああっ…。

はあ…はあ…はあ…はあ…私の中に…たっぷり出して頂けましたよね？…ご主人様？…はあ…はあ…はあ…。

気持ちよかったですか？…はあ…はあ…んふふ…。

今後はオナどれい奴隷おぶつに汚物の「中だし」など…許可してさし上げることは…はあ…はあ…二度とありませんから…はあ…はあ…はあ…。

## 【エピローグ】

こんなふうにご主人様と私は、<sup>なお</sup>治るあてのない<sup>きびょう</sup>奇病と<sup>にちや</sup>日夜向き合  
い続けています。

オナサポメイド、いつしかそう呼ばれるようになっていました。

<sup>せけん</sup>世間でどう見られているのかは分かりません。

けれど私は十分に満たされ、幸せな毎日を送っています。

そして今日はさらに特別な<sup>ひ</sup>日——。

ご主人様のたつての希望で、<sup>いもうと</sup>妹メイドがやって来るからです。

ほら、噂をすれば…。

〈コンコン ガチャリ 木製のドアをノックし開閉するSE〉

[妹メイド]：

初めまして、あの…。遅れてしまい、申し訳ありません！

[メイド]：

大丈夫ですよ？ 時間通りです。

さあ、こちらへ来てご主人様の耳元へ、ささやきかけてください？

[妹メイド]：

はい。

〈右の耳元へ 無声音の台詞です〉

エッチな言葉をおかずにしないと、射精できないそうですね？

このド変態が。

[メイド]：

よ～くできましたね？ 今後は二人でご主人様のために、身も心も

<sup>ささ</sup>捧げて<sup>せいしんせい い</sup>誠心誠意、<sup>つ</sup>尽くしていきましょうね？

[妹メイド]：

もちろんです、お姉様。  
ねえさま

[メイド]：

んっふふ。

楽しみでございますね、ご主人様？

おわり